

ふくい街角景気速報

(平成30年11月分)

調査期間 平成30年11月12日～26日 (回答率: 90%)

概況

景気の現状判断DIは48.9となり、前月と比べ5.5ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは47.2となり、前月と比べ4.5ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 48.9 (前月比 ▲5.5)

- 家計動向関連では、前月に比べ6.1ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ6.5ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ2.0ポイント低下した。

(意見の主な内容)

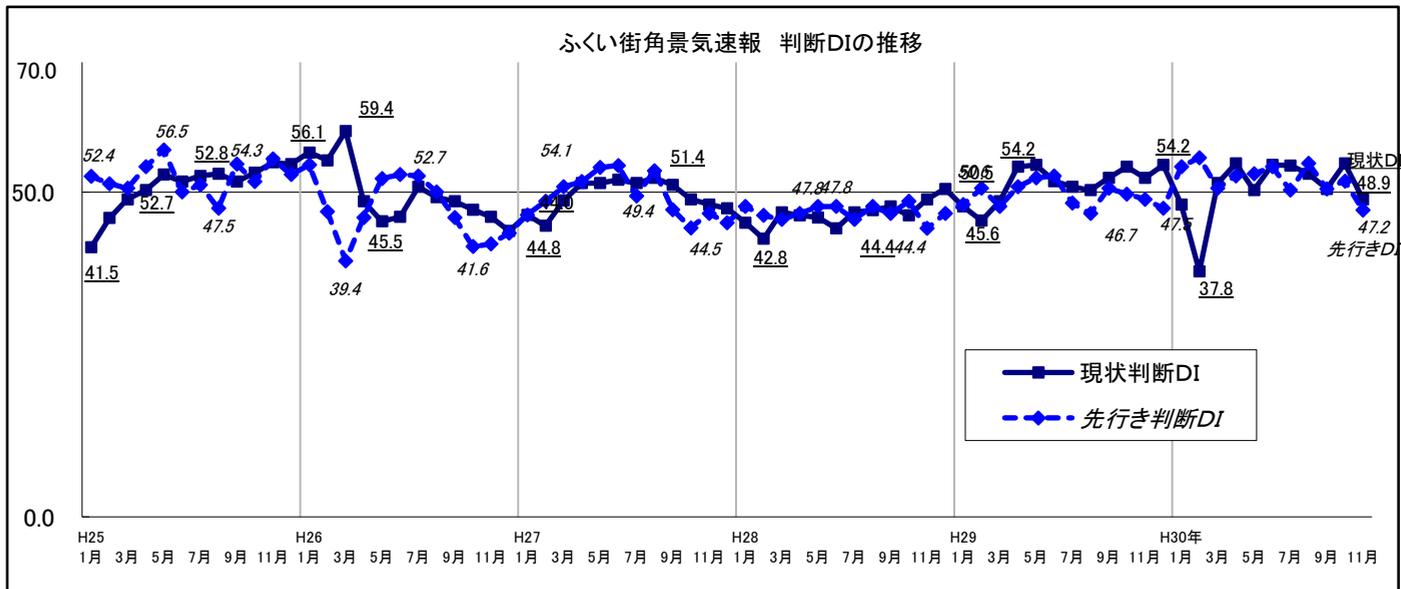
- 生鮮食品の相場は落ち着きを見せているが、気温が下がらないため上旬は鍋物商材の動きが鈍かった。(スーパー)
- 産地全体で考えると受注については緩やかに右肩上がりであるが、一部生産に追いつけない工程があり、結果横ばい状況となっている。(眼鏡製造業)

■景気の先行き判断DI 47.2 (前月比 ▲4.5)

- 家計動向関連では、前月に比べ7.2ポイント低下した。
- 企業動向関連は前月に比べ3.2ポイント低下した。
- 雇用関連は、前月に比べ1.9ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

- 産油国の不安定材料による原油価格の不透明感や米中貿易摩擦の動向など、今後の成り行きに懸念材料が多く、見通しは不透明感を増してきている。(化学・プラスチック製造業)
- 大手スマートフォン向けで受注の減少は見られるものの、コンデンサ需要全体としては堅調であり、生産自体は継続して高水準の操業が見込まれる。(電気機械製造業)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	9	6	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H30 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		54.2	54.1	52.8	50.5	54.4	48.9	▲5.5
家計動向関連		50.5	48.9	50.0	45.6	52.2	46.1	▲6.1
小売		48.4	47.6	49.2	45.0	51.6	47.6	▲4.0
飲食		50.0	56.3	62.5	50.0	50.0	25.0	▲25.0
サービス		56.3	50.0	47.7	45.8	54.2	45.8	▲8.4
企業動向関連		58.9	58.6	55.5	53.8	57.3	50.8	▲6.5
製造業		55.7	53.3	55.4	49.0	55.7	51.1	▲4.6
非製造業		66.7	72.2	55.6	66.7	61.1	50.0	▲11.1
雇用関連		55.8	61.5	56.3	59.6	55.8	53.8	▲2.0

○回答別構成比

	年 月	H30 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなっている		6.7%	7.7%	5.6%	2.2%	6.7%	3.3%	▲3.4
やや良くなっている		16.7%	20.9%	18.9%	22.0%	20.0%	15.6%	▲4.4
変わらない		64.4%	53.8%	57.8%	53.8%	58.9%	57.8%	▲1.1
やや悪くなっている		11.1%	15.4%	16.7%	19.8%	13.3%	20.0%	+6.7
悪くなっている		1.1%	2.2%	1.1%	2.2%	1.1%	3.3%	+2.2

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H30 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		53.9	50.3	54.4	50.5	51.7	47.2	▲4.5
家計動向関連		51.6	49.5	51.6	47.2	51.1	43.9	▲7.2
小売		49.2	46.8	50.0	47.5	51.6	41.9	▲9.7
飲食		50.0	50.0	50.0	41.7	50.0	37.5	▲12.5
サービス		58.3	56.8	56.8	47.9	50.0	50.0	+0.0
企業動向関連		54.8	50.8	59.4	53.0	54.8	51.6	▲3.2
製造業		51.1	50.0	57.6	54.2	54.5	51.1	▲3.4
非製造業		63.9	52.8	63.9	50.0	55.6	52.5	▲3.1
雇用関連		59.6	51.9	52.1	55.8	46.2	48.1	+1.9

○回答別構成比

	年 月	H30 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなる		4.4%	4.4%	4.4%	2.2%	4.4%	3.3%	▲1.1
やや良くなる		24.4%	17.6%	27.8%	20.9%	13.3%	10.0%	▲3.3
変わらない		54.4%	54.9%	50.0%	57.1%	66.7%	60.0%	▲6.7
やや悪くなる		15.6%	20.9%	16.7%	16.5%	15.6%	25.6%	+10.0
悪くなる		1.1%	2.2%	1.1%	3.3%	0.0%	1.1%	+1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由		
①良くなっている	企業 動向	福井	一般機械	当社の客先である建設機械業界は、世界市場の好景気により国内生産の好調が継続しており、先月同様に高操業が続いている。		
		嶺南	運輸	北陸新幹線や原子力発電所での工事受注が多い。		
②やや良くなっている	家計 動向	福井	小売店	販促強化により受注が増加し、客数も増加している。		
		福井	百貨店、ショッピングセンター	客単価が上がり、売上也伸びている。		
		嶺南	大型小売店	年末商戦などにより暖房機の売上が伸びている。		
		嶺南	旅館	ビジネス需要が堅調で底堅い。その他の顧客も、冬のカニシーズンもあり、好調な売り上げを示している。		
	企業 動向	嶺南	食品	3ヶ月前と比べると売上はやや良くなっている。		
		嶺南	コンクリート製品	北陸新幹線や原子力発電所での工事で生コンの出荷が多くなっている。		
		丹南	建設業	売上・受注共に増えている。		
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	臨時のセール効果もあり、婦人衣料はジャケット、ニットが伸長したほか、専門店領域も伸長した。		
		福井	スーパー	生鮮食品の相場は落ち着きを見せているが、気温が下がらないため上旬は鍋物商材の動きが鈍かった。		
		福井	観光物産店	キャンペーンなどを打ち出すと売上は上がるが、3ヶ月前と同程度であり、比較的落ち着いている。		
		福井	自動車販売・整備	受注状況はあまり良くなっているとは思えない。		
	企業 動向	奥越	繊維	売り上げ増にはなるが利益増にはならない。		
		丹南	繊維	人手不足は当社においても深刻である。		
		丹南	眼鏡	産地全体で考えると受注については緩やかに右肩上がりであるが、一部生産に追いつけない工程があり、結果横ばい状況となっている。		
		福井	金融機関	受注は拡大基調であるが、原材料価格の高騰や人材不足により生産活動が抑えられている可能性はある。		
		④やや悪くなっている	家計 動向	福井	商店街	国体の終了後、全体的に落ち込んでいる。
				坂井	小売店	3ヶ月前の夏休みの時期と比べると観光客（県外客）が激減している。
嶺南	百貨店、ショッピングセンター			競合他社の出店や改装等により来客数が減少している。		
嶺南	カフェ			3か月前は帰省客や観光客が多かったため、比較すると売上は減少している。		
福井	ビジネスホテル			3か月前は年間で売上が最も高い月であるため、減少しているが、前年と比べるとかなり良くなっている。		
企業 動向	丹南		伝統工芸	受注が減少している。		
	福井	石油関連製品販売	暖冬の為、冬季商品が売れていない。			
	丹南	食料品製造	お歳暮などの注文が昨年より少ない。			
⑤悪くなっている	企業 動向	福井	繊維	売上、受注が減少しており、客先の状況も悪化している。		

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由		
①良くなる	分野 企業 動向	坂井	一般機械	客先での設備投資の増加により受注が増える見込み。		
		福井	不動産・建設	2～3月は繁忙期となる。		
②やや良くなる	家計 動向	福井	自動車販売・整備	冬のボーナスの支給により、顧客の購買意欲の向上に期待。		
	企業 動向	嶺南	食品	10～12月は荷動きが良くなり、例年売上も増える。		
		福井	石油関連製品 販売	昨年のような大雪にはならないと予想され、消費は停滞しないと思う。		
		嶺南	コンクリート製品	北陸新幹線、原子力発電所での工事で生コンの出荷が多い。		
		嶺南	運輸	3月末までは工事が多く、車輛や人手が不足している。		
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、ショッピング センター	年末年始商戦を控え天候にも左右されると思われるが、このままの状況が続くと思われる。		
		丹南	百貨店、ショッピング センター	増税前の先行買いを期待しているが、それ以外良くなる要素がない。		
		坂井	旅館	予約状況はあまり良くないが、12月に入り増加するのを期待している。		
		嶺南	旅館	現状の予約状況が好調であるので先行きの伸びはさほど期待できないが、今の好調を何とかキープしていきたい。		
		坂井	観光・レジャー施 設	天候に左右されにくい屋内型のアトラクションを充実させ、今後の需要増加を期待しているものの、昨年のような交通インフラの混乱など、不安なところもあり先行きの判断は難しい。		
	企業 動向	丹南	繊維	先行きの不透明感が強い。		
		福井	一般機械	商談状況（内容・件数）は安定している。		
		丹南	電気機械	大手スマートフォン向けで受注の減少は見られるものの、コンデンサ需要全体としては堅調であり、生産自体は継続して高水準の操業が見込まれる。		
		坂井	IT関連	受注見込額はあまり変化ない。		
	④やや悪くなる	家計 動向	嶺南	雇用	学校就職担当者	就活ルール廃止の発言を受け、学生を取り巻く環境が危惧されたが、昨年と変わらない企業の採用活動が出始めている。
			坂井	小売店	3か月後は積雪時期になり、今年よりも客数が減少する。	
福井			小売店	天候が不安定になるため客数に影響を受ける。		
坂井			スーパー	消費税の増税や米中貿易摩擦による景気の後退。		
嶺南			大型小売店	正月セールが終わると例年閑散期となるため。		
奥越			土産品等販売店	売上が回復しておらず、人手不足の状態である。		
福井			ビジネスホテル	冬は最も客数が減少する時期であるが、適度な降雪があればスキー客増加も見込めるので雪次第となる。また、同業他社ホテルが新規オープン予定のため、警戒している。		
福井		旅行代理店	米中貿易摩擦に起因する景気悪化による影響を懸念している。			
企業 動向		丹南	鉄鋼	2～3ヶ月後の受注があまり入っていない。		
		福井	化学・プラスチック	産油国の不安定材料による原油価格の不透明感や米中貿易摩擦の動向など、今後の成り行きに懸念材料が多く、見通しは不透明感を増してきている。		
		丹南	建設業	今後3か月は、シーズンオフに入ってくるため。		
		福井	不動産	冬期間の消費性向は鈍いと思われ、降雪次第である。		

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)